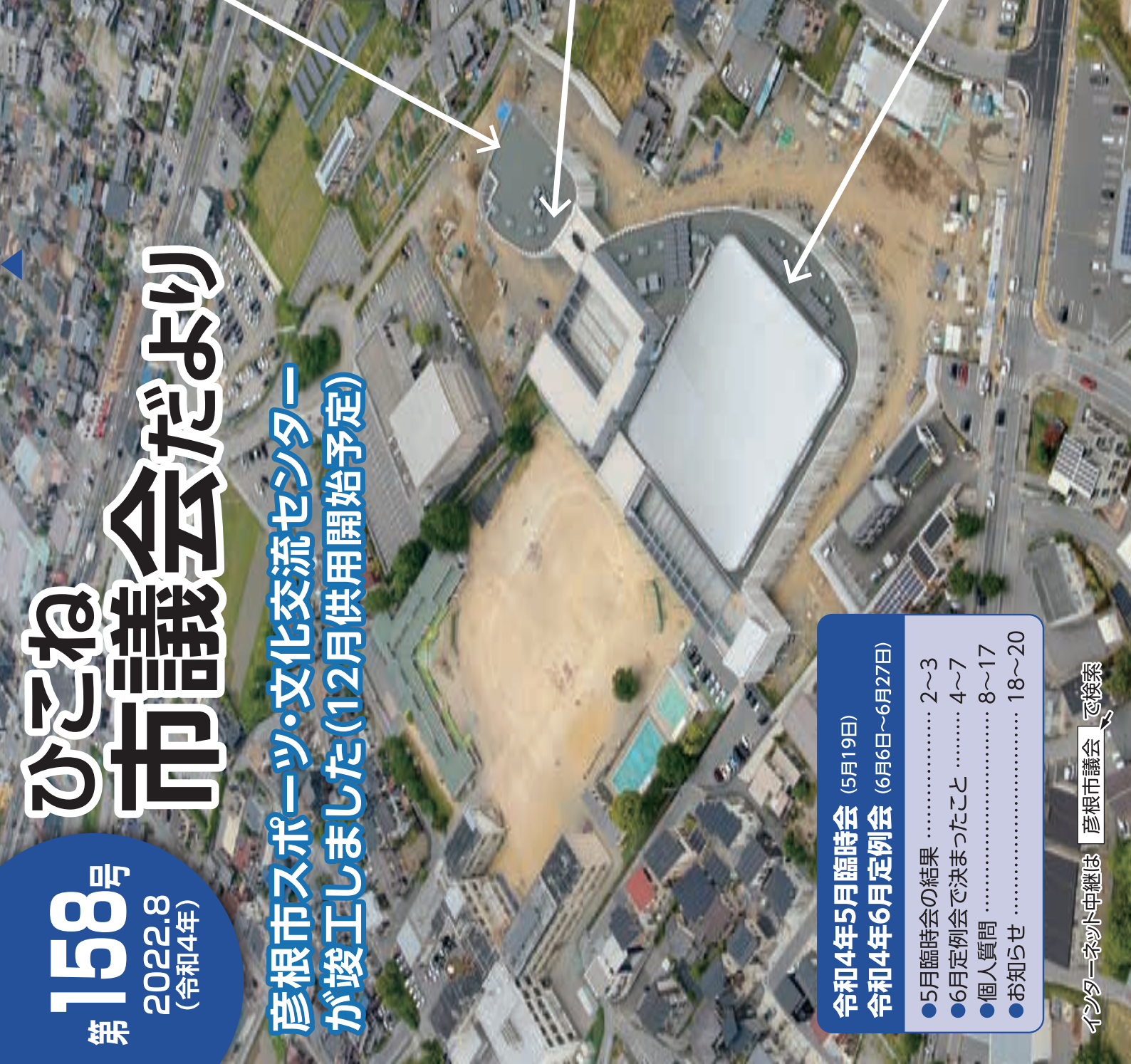


第158号

2022.8
(令和4年)

ひこね 市議会だより

彦根市スポーツ・文化交流センター
が竣工しました(12月供用開始予定)



多目的ホール



まちなか交流ラウンジ



メインアリーナ

令和4年5月臨時会 (5月19日)

令和4年6月定例会 (6月6日~6月27日)

- 5月臨時会の結果 …………… 2~3
- 6月定例会で決まったこと …………… 4~7
- 個人質問 …………… 8~17
- お知らせ …………… 18~20

— 決定しました —

5月臨時会で赤井議長、和田副議長が当選されました。
また、各委員会の構成は以下のとおりです。



64代議長
赤井 康彦 議員

様々な課題について熱心な議論をし、まとまるべき時はまとまるようリーダーシップを発揮するとともに、市民の皆さんに身近に感じていただける彦根市議会を目指してまいります。



75代副議長
和田 一繁 議員

議長を補佐するだけでなく、議長と共に市民に開かれた議会を目指して、議会の活性化を進めるため精一杯努めさせていただく所存です。

◇ 委員会の構成 ◇

(令和4年5月19日現在)

企画総務消防常任委員会	◎ 矢吹 安子	馬場 和子	長崎 任男	北川 元気
	○ 森野 克彦	中野 正剛	谷口 典隆	
福祉病院教育常任委員会	◎ 野村 博雄	杉原 祥浩	堀口 達也	黒澤 茂樹
	○ 林 利幸	角井 英明	小川 吉則	上杉 正敏
市民産業建設常任委員会	◎ 安澤 勝	辻 真理子	小川 隆史	中川 睦子
	○ 森田 充	赤井 康彦	和田 一繁	伊藤 容子
予算常任委員会	◎ 馬場 和子	北川 元気	安澤 勝	伊藤 容子
	○ 辻 真理子	赤井 康彦	矢吹 安子	野村 博雄
	角井 英明	杉原 祥浩	中野 正剛	林 利幸
議会改革特別委員会	◎ 中野 正剛	黒澤 茂樹	小川 隆史	森田 充
	○ 小川 吉則	辻 真理子	馬場 和子	角井 英明
議会運営委員会	◎ 杉原 祥浩	中川 睦子	上杉 正敏	林 利幸
	○ 黒澤 茂樹	森田 充	安澤 勝	北川 元気
議場開放促進委員会	◎ 上杉 正敏	堀口 達也	角井 英明	小川 隆史
	○ 伊藤 容子	長崎 任男	杉原 祥浩	赤井 康彦
広報委員会	◎ 馬場 和子	林 利幸	和田 一繁	北川 元気
	○ 森野 克彦	中野 正剛	小川 吉則	安澤 勝
広聴委員会	◎ 黒澤 茂樹	野村 博雄	森田 充	矢吹 安子
	○ 辻 真理子	中川 睦子	谷口 典隆	

※◎=委員長 ○=副委員長

5月臨時会の結果

5月19日(木)の5月臨時会の結果についてお知らせします。
 予算関係2件、条例関係3件、その他議案3件を審査し、原案のとおり可決・承認・同意しました。
 また、意見書案1件を可決しました。



新しい彦根市監査委員を選任

新しい彦根市監査委員を中野正剛議員とする議案に対し、全会一致で同意しました。

5月臨時会の質疑

議案第39号に対して、中川睦子議員から個人質疑がありました。

5月臨時会 議案等の審議結果

会期：5月19日(木)

■全員賛成で承認・可決した議案等

項目	番号	件名
議案	41	専決処分につき承認を求めることについて(彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例)
	42	彦根市特別職の常勤職員の給与等に関する条例および彦根市病院事業管理者の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案
	44	和解をすることについて
	45	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて
	46	彦根市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて
意見書	2	JR稲枝駅西側地区に県立高等専門学校の設置を求める意見書案(詳細は18ページをご覧ください)

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	4	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	5	損害賠償の額の決定について

■賛否が分かれた議案

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	中川睦子	角井英明	長崎任男	堀口達也	北川元気	辻真理子	杉原祥浩	小川隆史	和田一繁	野村博雄	森野克彦	森田充	小川吉則	矢吹安子	赤井康彦	上杉正敏	中野正剛	林利幸	谷口典隆	伊藤容子	馬場和子	黒澤茂樹	安澤勝
議案	39	令和4年度(2022年度)彦根市一般会計補正予算(第2号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40	令和4年度(2022年度)彦根市病院事業会計補正予算(第1号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43	彦根市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



6月定例会の結果

6月定例会の結果

6月27日(月)に閉会した6月定例会の結果についてお知らせします。
 予算関係10件、条例関係5件、その他議案2件を審査し、原案のとおり可決、同意しました。
 また、委員会議案1件を可決、意見書案1件を否決しました。

6月定例会 議案等の審議結果

会期：6月6日(月)～6月27日(月)

■全員賛成で承認・可決した議案等

項目	番号	件名
議案	47	令和4年度(2022年度)彦根市一般会計補正予算(第3号)
	49	令和4年度(2022年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	50	令和4年度(2022年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計補正予算(第1号)
	51	令和4年度(2022年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
	52	令和4年度(2022年度)彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
	53	令和4年度(2022年度)彦根市水道事業会計補正予算(第1号)
	54	彦根市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例案
	55	彦根市市税条例および彦根市市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例案
	56	彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案
	58	彦根市墓地の設置および管理に関する条例を廃止する条例案
	59	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて
	60	財産の取得につき議決を求めることについて
	61	令和4年度(2022年度)彦根市一般会計補正予算(第5号)
	62	令和4年度(2022年度)彦根市病院事業会計補正予算(第2号)
63	令和4年度(2022年度)彦根市一般会計補正予算(第6号)	
委員会議案	1	彦根市議会会議規則の一部を改正する規則案

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	6	令和4年度(2022年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について
	7	第35期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について
	8	第26期株式会社夢京橋の事業計画について
	9	第20期株式会社四番町スクエアの事業計画について
	10	令和3年度(2021年度)彦根市繰越明許費繰越計算書について
	11	令和3年度(2021年度)彦根市病院事業会計予算繰越しについて
	12	令和3年度(2021年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて
	13	令和3年度(2021年度)彦根市下水道事業会計予算繰越しについて

■賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

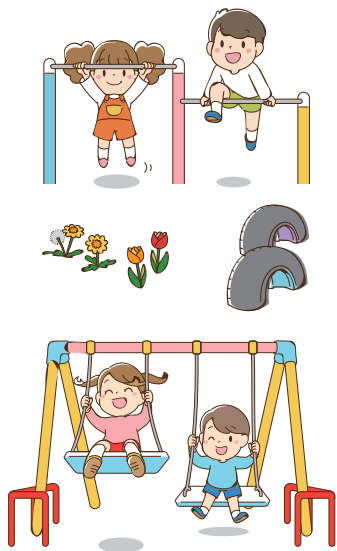
項目	番号	件名	結果	中川	角井	長崎	堀口	北川	辻	杉原	小川	和田	野村	森野	森田	小川	矢吹	赤井	上杉	中野	林	谷口	伊藤	馬場	黒澤	安澤	
				睦子	英明	任男	達也	元気	真理子	祥浩	隆史	一繁	博雄	克彦	吉則	安子	康彦	正敏	正剛	利幸	典隆	容子	和子	茂樹	勝		
議案	48	令和4年度(2022年度)彦根市一般会計補正予算(第4号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57	彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	3	燃料・肥料・飼料等の価格安定のための財政措置を求める意見書案	否決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

一般会計予算の主な事業

緑地環境事業

2,565万1千円

河瀬公園の整備を実施するにあたり必要な経費です。



▲河瀬公園

彦根市立図書館大規模改修事業

2,327万円

彦根市立図書館の大規模改修を実施するにあたり必要な経費です。



【令和4年度改修予定】

- 昇降機更新工事
- 屋内消火栓・消火栓ポンプ更新工事

▲昭和54年(1979年)11月に開館した彦根市立図書館

予算常任委員会

令和4年度補正予算案を慎重に審査

予算常任委員会は、6月6日(月)、17日(金)、27日(月)に委員会を開催し、10件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・ 議案第47号、 議案第48号、 議案第49号、
議案第50号、 議案第51号、 議案第52号、
議案第53号、 議案第61号、 議案第62号、
議案第63号

【主な質疑】

○議案第48号に対して

<まち・ひと・しごと移住推進事業について>

Q 現時点で何件の申請があるのか。

A 東京圏からの移住者の相談を単身世帯1件、2人以上の世帯1件の計2件受けている。支援金は単身世帯60万円、2人以上の世帯100万円である。

Q 資格要件と周知の仕方は。

A 相談を受けている2件はテレワーク要件に該当し、仕事を変わらずに東京圏から彦根市に移住していただく。周知はホームページのほか、相談を受けた際に他の補助制度も含めてのご案内や移住コンシェルジュからSNSでの発信もしていただいている。

<番号制度対応事業について>

Q 通信運搬費の内容は。

A 申請者にマイナンバーカードを送付する際の本人限定受取郵便料または簡易書留郵便料であり、3万3,600人分を想定している。

【主な討論】

○議案第48号に対して

反対 マイナンバーの取得は任意であり、全員取得を押し付けるべきではない。

○議案第61号に対して

反対 総合窓口関連事業に対して、ICT活用には賛成するが、マイナンバーカードの取得促進には反対する。

【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決

市民産業建設常任委員会

彦根市特別用途地区内における建築物の制限に関する条例案等、議案3件を可決

市民産業建設常任委員会は、6月20日(月)に委員会を開催し、3件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・ 議案第54号、 議案第56号、 議案第58号

【主な質疑】

○議案第54号に対して

Q メリット、デメリットは。

A メリットとして、彦根城周辺の歴史保全により都市ブランドが向上し、定住人口、交流人口の増加につながる。結果、税収の増加につながり市民サービスが向上し、市民が誇れるまちづくりにつながる。

デメリットは、建築物に規制をかけることから既存の施設を運営されている事業者にはご協力をお願いすることとなる。

Q 建築してはならない建築物として5つ具体的に書かれているが、その他にあるのか。

A 類するものとしてゲームセンターも関わってくると認識している。

○議案第58号に対して

Q 彦根市が所有する墓地は広野町の墓地だけか。

A 条例で定めていた当該墓地のみ。

【結果】

- ・ 議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

彦根市消防署犬上分署に配備される高規格救急自動車の取得につき議決を求めることについては、原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、6月21日(火)に委員会を開催し、1件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第60号

【主な質疑】

○議案第60号に対して

- Q 彦根市消防署犬上分署に配備されている高規格救急自動車について、この9年間の救急出動回数と走行距離、車両修理中の救急出動はどのようにしているのか。救急車が足りなくなったことはないか。
- A 令和4年6月1日現在の出動回数は7,799回、走行距離は16万3,171kmである。修理中は、非常用の救急車両を1台配備し対応している。救急車が不足する場合は、救急、資機材を装備した消防車両で資格を持った者がまず現場へ行き、救急隊が到着するまで応急処置を行っている。

Q 車両の更新は10年とされているが、修理代や市民サービスから考えて更新を早められてはどうか。

A 高齢者が多くなり救急要請の件数は増加していくと考えている。更新年限は、10年または15万kmを目安に更新するが、今回も修理がかさみ、走行距離も伸びているため9年で更新する。今後も車両状況によって早期に更新する方向で考えていく。

Q 車両更新の年次計画は。

A 随時車両の状態を確認して、更新計画は必要に応じて変更していく。

【結果】

- ・議案は原案のとおり可決

福祉病院教育常任委員会

工事請負契約の締結につき議決を求めることについて等、議案2件を可決

福祉病院教育常任委員会は、6月22日(水)に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第57号、 議案第59号

【主な質疑】

○議案第57号に対して

- Q 医科の初診と歯科の初診に差があるのはなぜか。
- A 国が法令に定める最低金額に則って設定している。
- Q 施行日が令和4年10月1日となっているのは。
- A 市民への周知等のため4月から9月末までの6カ月間の経過措置が設けられているためである。

○議案第59号に対して

- Q 応札業者数と予定価格、落札率は。
- A 応札業者は9者、予定価格は2億9,920万円で、落札率は86%である。

Q 彦根中学校増築工事への資材高騰の影響は。また、高騰がなかった場合に抑えられた金額は。

A 予定価格の設定時点で、現在の資材価格を見込んで設定している。資材の高騰がなければどれ位価格が抑えられたかは明確にはわからない。

【主な討論】

○議案第57号に対して

反対 医療機関の連携・機能分担等の必要性は一定理解するが、高額な初診料を設定して問題解決を図ることには反対であり、本議案にも反対する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決





6月定例会個人質問

19人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ配信・録画配信の視聴について



本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。
 また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。
 配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



堀口 達也議員
福祉病院教育常任委員会

Q 高専誘致による市の発展、地域の活性化への副市長の考えは

A 稲枝駅西側開発全体の促進や新たな産業創出につながる



その他の質問

- ・映画のロケ地に最適な場所は
- ・四番町スクエアを映画ロケ誘致の拠点にとあるが詳細は
- ・宿泊施設や観光業への波及効果は

Q 高専誘致のスケジュールと進捗は。

A 6月8日に最適県有地として旧野洲川が公表され、7月8日までに独自候補地を提案する。各市町の提案地を県が採点し8月に設置場所を決定。現在は用地選定基準に従い提案の準備を進めている。

Q 速やかな用地取得は可能か。

A 地権者の代表と協議を重ね、県への応募時期までに用地活用について同意書を頂く予定。

Q 本市候補地の課題と魅力は。

A 課題は民有地であること。魅力は稲枝駅徒歩3分という立地の良さ。県内外からの通学のしやすさ。県立大学が本市に立地していること。

Q 市の発展、周辺地域活性化への副市長の考えは。

A 稲枝駅西側開発全体の促進、学術都市の推進、高度な技術人脈の輩出、新たな産業創出、卒業後の就職による人口増につながる。



▲稲枝駅に設置された高等専門学校の誘致に関する看板



中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q 価格高騰で学校給食支援を早急に行うべきでは

A 負担増分は地方創生臨時交付金を活用する



その他の質問

- ・ごみ減量と資源化のため草木・せん定枝のチップ化の復活を
- ・中学校卒業までの通院医療費、学校給食費無償化早期実現について

Q 長引くコロナ禍で市内事業者への今年度の対応は。

A 国の交付金を活用した支援策は、円安、物価高騰等が地域経済へ及ぼす影響や中小事業者が求めるものについて検討し、時機を逸せず実施する。

Q 市に割り当てられた22年度と21年度の地方創生臨時交付金の配分額は。

A 22年度は3億1,007万8千円。21年度は3億4,979万1千円。

Q 国への事業計画の提出期限は7月29日である。水道料金や国保料の減免など、緊急性の高い施策を早く提出すべきでは。

A 現在内部からは30あまりの事業が届いており、全部まとめて提出する。

Q 食材価格高騰で学校給食の献立変更が行われている。給食支援を早く打ち出すべきでは。

A 費用負担増分には地方創生臨時交付金の活用を検討している。



▲給食センターの調理風景



林 利幸議員
福祉病院教育常任委員会

Q 稲枝地区公園整備事業補正予算の内容は

A 公園計画地約5haの現況測量などを行う



その他の質問

- ・公共下水道事業について

Q 今定例会に稲枝地区公園整備事業として、2,857万1千円の補正予算が計上されているが具体的に何を行うのか。

A 公園計画地の約5haの現況測量とそれに伴う現況図の作成、また一部だが土地境界の確認や測量を行う。

Q 公園整備事業がやっと動き出したと理解して良いか。

A 国の補助採択を受け整備を進めるので、動き出したとの理解でよい。

Q 高専誘致は稲枝駅西側地区の開発、都市公園整備にどのような影響をおよぼすか。

A 実現すれば西側地区の開発は大きく前進し、都市公園計画についても大きく影響をおよぼす。地元の皆様と協議し基本計画の策定を進めてまいりたい。



▲耕作放棄地も広がる稲枝駅西側地区の現在の様子





辻 真理子議員
市民産業建設常任委員会

Q 職場環境を正常に戻すため、管理者はどのような対策を考えているか

A 職務遂行における管理運営規程の運用の厳格化を図る



Q 病院事業管理者を任命するのは誰か。

A 市長。

Q 院長を任命するのは誰か。

A 院長以下の職員の任命は管理者。

Q 地元紙が、病院幹部とスタッフ間でトラブルがあり、これらが原因で退職した看護師が複数いると報じたが、管理者から市長への報告は。

A 報道前に匿名で市に投書があり、私(市長)から管理者に問い合わせたところ、職員の退職の原因となるトラブル等は把握していないが、特定の職員に職務権限・職務範囲を超えた職務遂行があった旨の報告を受けた。

Q 市長の指示は。

A 綱紀粛正・服務規律の確保、管理運営規程の運用

の厳格化を指導した。

Q 職場環境を正常に戻すため、管理者の対策は。

A 市長の厳重注意・指導を受け、綱紀粛正等の管理者通知を発し、管理運営規程の運用の厳格化を図る。



▲彦根市立病院



馬場 和子議員
企画総務消防常任委員会

Q 国スポ・障スポに向け彦根駅西口一帯の整備計画は

A 安心・安全対策のための再整備は令和6年度の完成を目指す



その他の質問

- ・彦根駅西口に一階改札を
- ・公園利活用の提案(荒神山公園・庄堺公園・雨壺山一帯・金亀公園)について
- ・塩漬け地の現状と売却は

Q 国スポ・障スポに向けての彦根駅西口一帯の整備計画は。

A 彦根駅西口広場は昭和50年代後半に整備が行われたが、現状では通行車両が錯綜して危険な状態のため再整備を行う。具体的には一般車両とバス・タクシーを分離しロータリーには一般車両のみとする。タクシーの乗降場所は旧交番跡に、バス降り場はロータリー手前の信号機付近に設置し一般車両の安全性と利便性の向上を図る。併せて駅前広場を安心・安全に移動できるようバリアフリー化を行い憩いの場としての機能を充実することにより賑わいの創出も図りたい。

Q 進捗状況は。

A 地元関係者・関係機関との協議を行い合意形成を図っている。再整備に伴う用地取得の交渉を令和4年度に行い令和6年度の完成を目指す。



▲再整備計画が進んでいる彦根駅西口一帯



安澤 勝議員
市民産業建設常任委員会

Q 彦根・犬上広域一般廃棄物処理場に
係る協定項目事業の進捗状況は

A 彦根水谷線は令和6年度に。高根橋
は事業化が明確になっていない



その他の質問

- ・鳥居本将来ビジョンについて
- ・中山投棄場跡地利用について
- ・物価高騰による市民生活への影響について

Q 彦根・犬上広域一般廃棄物処理場協定項目事業のうち、県道彦根水谷線改良の状況は。

A 仏生寺付近は用地測量や詳細設計を終え、今年度中に地権者の理解を得て用地取得ができれば、一部工事にも着手する。完成時期は令和5年度を予定していたが、令和6年度にずれ込む可能性がある。百々付近は現時点では事業化に至っていない。

Q 矢倉川改修にあわせた高根橋拡張計画は。

A 高根橋は狭あいでの拡張の必要性は認識しており、県による矢倉川の改修工事にあわせて実施したい。国道8号から上流約400m区間が事業化されているが、高根橋までは事業化が明確になっていない。

Q 市の単独事業でできないか。

A 河川改修の断面が明確になったら先行して橋りょうの設置は可能と考えられる。



▲狭あいな県道彦根水谷線



野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 小・中学校の歯科保健や通学路の
安全、施設整備等の取組は十分か

A 関係者や関係部局等との連携を
一層進め、しっかり対応していく



その他の質問

- ・強い農業施策の推進について
- ・俳句文化の護持発展について
- ・積極的な緑の保全整備について
- ・急速な出生数減少への対応は

Q 令和3年度の歯科検診や体力・運動能力、運動習慣等調査結果を受けて今後の取組は。

A 歯科衛生士による学校訪問指導や家庭との連携、主体的な生活改善や体力づくりの推奨等の取組を進める。

Q 道路の損傷や大雪被害を受けた家屋に対する通学路の安全確保は図れているか。

A 関係部局や地域の方々との連携を進め迅速な対応に努める。

Q 彦根中学校の増築工事は生徒数増加にしっかり対応し、生徒の学習環境や学校生活が十分保障できるものとなっているか。

A 現在予想される増加に十分対応でき、採光や換気等も考慮し安全で安心して学習できるものとなっている。

Q 工事中の安全対策や駐車場の確保は十分か。

A 学校関係者や学校開放利用者、近隣住民等との連絡・周知を十分にいきい万全を期す。



▲彦根中学校増築工事の配置図





上杉 正敏議員
福祉病院教育常任委員会

Q これからの病院事業経営において重視すべきものは

A 医療の機能分化と連携強化そして医療人材の安定的確保である



その他の質問

・教員の働き方改革について

Q これからの病院事業経営において重視すべきものは。

A 病院事業経営において特に重視すべきと考えていることは2点ある。

1つ目は、医療の「機能分化」と「連携強化」である。感染症医療や災害医療を含め、医療需要の変動等に伴う様々な医療課題に対しては、病院単体ではなく、「地域全体」での医療機能の最適化の視点から、各病院が果たすべき役割・機能を明確化し、地域医療構想等を踏まえた機能分担および医療連携を推進していくことが重要である。

2つ目は、「医療人材の安定的確保」である。当該病院の果たすべき役割・機能的に対応できる人材配置となるよう、医師・看護師等の医療人材について安定的な人材確保と人材育成を行っていくことが大変重要であるとする。



▲機能分担・医療連携を推進する彦根市立病院



角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q 地球温暖化による気候危機への市の対応は

A 行政だけでなく市民や事業者など市全体で取り組んでいく



その他の質問

・小中学校や市の施設の太陽光発電について
・太陽光発電を使った環境学習について

Q 彦根市の8月の平均気温の推移は。

A 1日の平均気温を年代別にみると、1980年代では28℃を超えた年はないが、1990年代や2000年代はそれぞれ2年、2010年代は7年あった。

Q 温暖化についての見解は。

A 気象台が公開する本市の平均気温の推移をみると、温暖化は進行している。

Q 温暖化への対策は。

A 公共施設の照明のLED化など全庁で取り組むほか、市民や事業者等にも緑のカーテンや生ごみのたい肥化等に取り組んでもらうなど、市全体で取り組む。

Q 「彦根市低炭素社会構築都市宣言」の精神に立てば「気候非常事態宣言」をすべきでは。

A 本市の環境基本計画等で温暖化対策を位置付けているが、特化した計画はない。今後検討していく。



▲緑のカーテンコンテスト



杉原 祥浩議員
福祉病院教育常任委員会

Q 彦根中学校校舎棟増築工事に特色ある工事内容はあるのか

A プログラミングしたロボットを作動させることを意識したPC教室



その他の質問

- ・多賀スマートICの完成後の高宮交差点付近の渋滞解決策は
- ・犬上川右岸道路の期成同盟会を再開しては

Q 彦根中学校校舎棟増築工事に特色ある工事内容はあるのか。

A 2階のコンピュータ教室はプログラミングしたロボットを作動させることを意識したスペースとしている。

Q 増築工事の概要は。

A 軽量鉄骨造2階建て、延べ床面積623.72㎡の校舎を増築するもので、普通教室2教室とコンピュータ教室、多目的教室、便所、倉庫を設置する。また、既存校舎の3階のコンピュータ教室を普通教室2教室に改修する。

Q 令和5年度以降に増加する生徒数は。

A 令和9年度にピークを迎え、現在より75名増加し543名となり、クラス数は21クラスと見込んでいる。

Q 10年後の生徒数は。

A 503人と予想。



▲増築工事予定の彦根市立彦根中学校



北川 元気議員
企画総務消防常任委員会

Q 子どもを熱中症から守るマスク着用の対策は

A マニュアルを周知し熱中症対策の徹底を図る



その他の質問

- ・市職員へのカスタマーハラースメントについて
- ・子どもの自殺対策について

Q 滋賀県独自のマスク着用基準の内容は。

A マスクが不要な場面として ▶屋外で他の方と十分な距離(2m程度)が取れるとき ▶屋内で2m程度の距離があり会話がないとき ▶外出時に屋外ですれ違う程度 ▶屋内外を問わず運動をするとき ▶屋内外を問わず未就学児。

マスクが必要な場面として ▶換気が悪い場所 ▶風邪症状のあるときや風邪症状のある人と接するとき ▶屋外でもイベントなど大人数のとき ▶濃厚接触者に該当するとき ▶対面で会話をするとき。

Q 子どもの命を熱中症から守るため、マスク着用について積極的な対策と指導、および保護者や地域住民へわかりやすい周知をする考えは。

A 今後は、各校の熱中症予防対策マニュアルを学校だよりやホームページ等で周知し熱中症対策の周知を図る。



▲滋賀県独自のマスク着用基準

個人質問



森野 克彦議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根城入口付近に設置されている喫煙所は受動喫煙の影響はゼロか

A 受動喫煙の影響がゼロであるとはっきり言うことはできない



その他の質問

- ・喫煙しない職員にも同等の休憩を与えるべきでは
- ・子どもの習い事に対する助成金制度を創設することはできないか

Q 彦根城入口付近に設置されている喫煙所は、受動喫煙の影響はゼロか。

A 望まない受動喫煙を防止するための必要な措置を講じた上で、必要に応じて喫煙所を設置している。

Q 受動喫煙の影響がゼロかどうか聞いている。

A 測定していないので受動喫煙の影響がゼロであるとはっきり言うことはできない。

Q ゼロではないということか。

A 受動喫煙の防止については徹底しているが、受動喫煙の影響がゼロか、ゼロでないかは測定していないので答えられない。

Q 実際に子どもや高齢者が通るところで、たばこの臭いがする。それが受動喫煙になっている。それでも、測定して大丈夫だったら移動もしないのか。

A 喫煙場所やその必要性について今後検討していきたい。



▲受動喫煙の影響がゼロだと言えないのに設置されている彦根城入口付近の喫煙所



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

Q 鞍掛山・大堀山の整備は

A 鞍掛山・大堀山とも、市としての整備はしていない



その他の質問

- ・彦根市スポーツ・文化交流センター「まちなか交流棟」について
- ・ひとり親家庭援護事業について

Q 旭森学区の鞍掛山・大堀山の、市としての森林整備、活用はどの様になっているのか。

A 鞍掛山・大堀山とも、市としての整備はしていない。

Q 森林環境税として、令和6年度からひとり年間1,000円、琵琶湖森林づくり県民税として、平成18年度からひとり年間800円徴収されている。森林整備のために広く市民が活用できる制度が必要ではないか。

A 森林環境譲与税は、年度末残高につき森林環境譲与税基金として積み立てている。市の管理する林道が台風等で崩落等した場合、復旧に何千万円と必要なことから基金を、市民に分配するのは無理だと考える。

しかし、自治会と森林所有者とが協定を結びこの里山をきれいにしていこうといった場合等であれば、活用が考えられる。



▲旭森学区鞍掛山の登山道入り口



黒澤 茂樹議員
福祉病院教育常任委員会

Q 地域活性化に向けた「道の駅」設置の考えは

A 他の市施設の有効活用からスタートする



その他の質問

- ・デジタル田園都市国家構想の彦根市へのメリットは
- ・マイナンバーカードを全市民に行き渡らせる具体的な施策は

Q 「道の駅」は間違いなく地域活性化につながる施設か。

A 2025年までの「道の駅」第3ステージでは、地方創生、観光を加速する拠点として展開され、インバウンドや子育て世代の応援施設、大学連携などの支援メニューもあり地域の活性化につながると考えている。

Q 日本一の「道の駅」設置に向けた市長の考えは。

A 大切なことは投資対効果。国の補助金を使っても市には維持管理費用が毎年かかり、投資した資金を回収するのはかなりハードルが高い。

ハードより「彦根で何を売るか」、「独自性をどう出せるか」ソフトウェアの方が大事で、しっかり勉強する。

これまでに地域活性化につながるだろうとして作った施設が多数あり、まずは既存施設の有効活用を図ることからスタートしたい。

令和元年度(2019年度)滋賀県「道の駅」観光入込客数ベスト10

順位	名称	市町名	入込客数(人)
1	藤樹の里あどがわ	高島市	855,100
2	妹子の郷	大津市	837,000
3	あいとうマーガレットステーション	東近江市	782,200
4	竜王かがみの里	竜王町	628,800
5	びわ湖大橋米プラザ	大津市	559,000
6	アグリパーク竜王	竜王町	509,000
7	せせらぎの里こうら	甲良町	420,900
8	湖北みずどりステーション	長浜市	408,700
9	塩津街道あざかまの里	長浜市	404,100
10	伊吹の里	米原市	390,200
	(参考) 彦根城	彦根市	766,700

※本市で、観光入込客数ベスト30にランクインするのは彦根城のみ



森田 充議員
市民産業建設常任委員会

Q 中学校運動部活動の現状は

A 令和2年度以降は60%代後半の加入割合



その他の質問

- ・部活動へのコロナの影響は
- ・部活動の「地域移行」についての認識は
- ・体力づくり彦根市学区スポーツ大会の趣旨は

Q 中学校運動部活動の現状は。

A 傾向としては野球やサッカーなど、団体競技に所属する人数が少なくなっている一方で、バドミントンや卓球などの個人スポーツは比較的多人数を維持している。

Q 夏季中体連の有観客開催の考え方は。

A 「滋賀県中体連事業開催における感染症対策ガイドライン」が6月9日に改訂され、今後は利用する会場の制限や状況に応じて滋賀県中学校体育連盟が専門部ごとに入場の可否を判断できるようになった。

Q 中学校運動部活動「地域移行」の保護者(市民)への周知方法は。

A まずは教職員に周知し、市のホームページなどを活用して保護者や市民に広く伝えていく。

各中学校では、部活動保護者会などで丁寧な説明を行い理解と協力を得ていきたい。



▲運動部活動の地域移行について
(文部科学省会議資料から抜粋)



個人質問



伊藤 容子議員
市民産業建設常任委員会



市民が観覧できる花火大会への
予算承認では



所定の料金を払った人が参加できる
イベントが承認されたと認識



その他の質問

- ・全ての子どもが安心して学び、一人ひとりに適した学習環境整備について

Q 北びわ湖大花火大会の概要は。

A 彦根の花火大会の映像作品を制作・配信による観光誘客を目的とし、3月に新海浜で撮影しYouTubeで配信している。

Q 総経費は。

A 総経費約1,660万円。うち市・県の補助金各600万円、協賛金約460万円。

Q 市民が見られない花火大会を市はどう思うか。

A YouTubeを通じて彦根の魅力を伝え観光誘客の目的は達成される。

Q 市民が観覧できる花火大会が予算承認されたのでは。

A 花火の補助金は、所定の料金を払った人が参加できる花火と音楽のイベント計画が承認されたと認識。

Q 市民が見られない花火大会に補助金を交付することを市長はどう思うか。

A コロナでイベント開催が不明な中、補助金も承認されており、映像配信という新たな試みを実行委員会が決定したと考える。



▲広報ひこね2019年8/1・8/15号
花火大会が掲載された裏表紙



長崎 任男議員
企画総務消防常任委員会



コロナ融資の市内業者の返済状況
は順調か



順調な事業者ばかりではないと
認識している



その他の質問

- ・文化財の火災予防について
の見解は
- ・消防法施行令第32条特例
申請とは
- ・荒神山神社の自動火災報知
設備の設置について

Q 利子補給制度を利用し、実質無担保、無金利の新型コロナウイルス感染症
対策融資であるが、利子補給終了後の影響は。

A 経営状況が改善されていない事業者においては返済に苦慮され、返済に滞りが生じる可能性がある。

Q 市内業者の返済状況は順調か。

A 長引くコロナ禍により、必ずしも順調な事業者ばかりではないと認識している。

Q コロナ対策で市内業者の業種間格差は生じているか。

A 国や県、市が実施してきた経済対策は、影響の度合いに応じた業種別のメニューであるため、全ての業種を均等にカバーできているとは言い切れないと考える。

Q 事業再構築補助金制度の周知は。

A 有用な制度であるので、市ホームページに補助金サイトへの
の直通リンクを掲載する等わかりやすい周知に努める。





矢吹 安子議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根城のお堀の白鳥を守るためには

A 白鳥6羽を守り、繁殖しやすい環境整備に努める



その他の質問

- ・ 幼保小の架け橋プログラムについて
- ・ 小学校高学年の教科担任制について
- ・ 英語教育について

Q 彦根城に花を添えるひとつに白鳥もいる。癒しと安らぎの存在である白鳥は、観光客への「おもてなし」となる。減少か、少し増やして守っていくのか、考える時期である。現在の白鳥の数は。

A 昭和36年に「日本白鳥を守る会」から寄贈を受けて、現在は親鳥3羽、ひな3羽の計6羽。

Q 白鳥が1番多かった時期と維持してきた内容は。

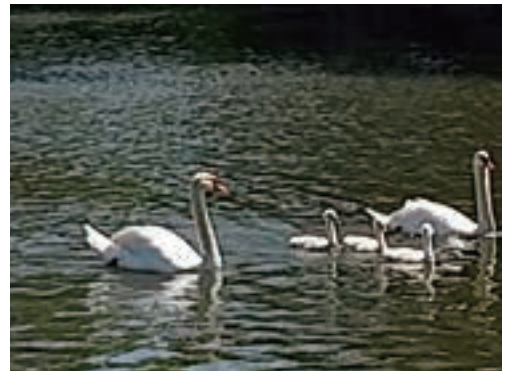
A 昭和53年5月、ひな11羽を含めて計57羽であった。野鳥からの保護、親鳥のストレス対策として小屋に囲いやネットを設置。

Q 白鳥がお堀にいる効果は。

A 今年5月にひなが誕生した際には、テレビや新聞等で話題になり彦根城をPRし一定の誘客効果があった。

Q 白鳥を守るための取組は。

A 現在飼育している白鳥が自然繁殖しやすい環境整備に努める。



▲白鳥の親子(令和4年6月12日現在)



小川 隆史議員
市民産業建設常任委員会

Q 彦根市スポーツ・文化交流センターの教室開催内容の状況は

A 多種多様な教室・講座を開催する



その他の質問

- ・ ごみ減量化の取組について
- ・ 四番町スクエアの経営見直しについて

Q 彦根市スポーツ・文化交流センターにおける特色ある教室等の内容は。

A 年間123種、4,436回の教室、講座等が開催される予定。内容は、ちびっ子体操、ヨガ、卓球スクール、書道、華道、語学、パソコン等の講座やタロット占い、考古学、バーチャルフィットネスなどの珍しい教室がある。

Q 利用者の利便性を図る仕組みは。

A 予約管理システムを導入して、スマートフォンやパソコンから24時間、365日、どこからでも、施設の空き情報の確認、予約申請ができたり、駐車場混雑予測も確認できるようになる。また、利用料もキャッシュレス決済ができる。



▲完成が見えてきた彦根市スポーツ・文化交流センター



議会改革特別委員会

「議会図書室規程」を改正、今後は「議員間討議の活用」と「質疑・質問時の動画資料掲示」について協議

6月6日(月)に開催した委員会では、「彦根市議会図書室規程の改正について」と「協議項目等の整理について」を議題として協議しました。

議会図書室規程については新しい運用に合わせた改正を行い、議長に答申しました。

「協議項目の整理について」では、今まで取り組んできた項目について整理しました。項目のうち、「オンライン会議の活用」については、使用するオンライン会議システムの追加を決定し、現在、議会運営委員会で本格的に検討を始められているため、協議項目から削除しました。

また、「議会図書室規程の改正」につきましても実施しましたので、協議項目から削除しました。

「議員間討議の活用」については今後も着目し、協議項目として引き続き取り組んでまいります。

そして、追加項目として「質疑・質問時の動画資料掲示」を取り上げます。こちらは、昨年度の議会運営委員会において、本会議・委員会における資料掲示に動画を活用できないかという提案がなされたもので、今後、導入の是非を含め課題に対する協議を行ってまいります。

【今後の協議項目】

- 議員間討議の活用
- 質疑・質問時の動画資料掲示
- 議会基本条例の検討
- 議決事件の追加

JR稲枝駅西側地区に県立高等専門学校の設置を求める意見書について全会一致で可決

この度、滋賀県では令和9年(2027年)に滋賀県初となる県立高等専門学校の開設を表明され、本年6月には各市町から提案地を受け付け、設置場所の選定が行われる運びとなっています。

本市においては、湖東圏域の南部の玄関口として、東西自由通路を有したJR稲枝駅の完成に伴い、東西駅前広場の整備に併せアクセス道路が先日ようやく完成しました。

同駅は、湖東定住自立圏を構成する愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町など周辺地域からの利便性の向上が図れ、地域の活性化が一層見込まれるところでありJR稲枝駅西側地区を県立高等専門学校設置に最適な場所として、多くの利点があると考えます。

- 1 地理的に滋賀県の中心にあり、県内の各地域から進学を希望する生徒や教職員にとって利便性が高い。
- 2 通学に至便な上に、周囲は田園風景が広がり学習環境に適している。
- 3 経済発展や地域の活性化に繋がり、県経済全体の均衡を図ることができる。
- 4 運営母体となる滋賀県立大学にも近く、連携協力が図りやすく、生徒や教員の交流も容易である。

以上のような利点に加え、近年、県立高校の通学区域が全県一区になったことにより、高校進学希望者が県南部の高校に偏り、県北部の高校の定員割れなど憂慮すべき事案があることから、進学希望校の集中化を防ぐ方策としても、本市に県立高等専門学校の設置は必要です。

以上のことから、下記の事項を強く求めるものです。

記

JR稲枝駅西側地区に県立高等専門学校の設置を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年5月19日

『ひこね市議会だより』は私たち広報委員が作成しています!



彦根市議会をもっと身近に、より身近にと市民の皆さまが感じていただけるよう、彦根市議会では23人の議員が広聴委員会・議場開放促進委員会・広報委員会のいずれかに所属しています。

広報委員会では、市民の皆さまの税金がどのような事業に使われているのか?地域や地元から寄せられるお声が市政にどのように反映されているのか?など議会での審査状況をひこね市議会だよりにわかりやすく掲載しています。

定例会や臨時会で決定した内容や個人・会派代表からの質疑ならびに一般質問の内容の掲載も、読みやすくわかりやすくするため委員会の中で協議をしながら編集作業に当たっています。

それぞれの号の表紙写真の選定には、彦根市のことや議会での審査の内容を反映した写真を選ぶことを心がけています。

これからも市民の皆さまへの情報発信の一つとして日々研鑽してまいりますので、ご意見やご感想などございましたらお気軽にお寄せください。

政務活動費

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派に交付されているお金です。

本市では、各会派に対して所属議員1人当たり年24万円を交付しており、政務活動費が余った場合は、返還することになっています。

年度途中で所属議員数に変更があった場合には、所属月数に応じて精算を行います。

透明性の高い運用をするために、本市では政務活動費の用途基準を条例で定め明確化するとともに、領収書を添えた収支報告書の提出を義務付けています。また、平成28年度分から、ホームページで領収書の公開も開始しました。

会派別一覧表(令和3年度交付分 収支報告書)

(単位:円)

交付会派名	人数	令和3年度 交付決定額	支出額	うち会派 自己資金	返還額
公政会 (R3.11.1~9名)	12名	2,880,000	1,811,331	0	1,068,669
夢みらい	4名	960,000	101,657	0	858,343
公明党彦根市議団	2名	480,000	418,650	0	61,350
日本共産党彦根市会議員団	2名	480,000	348,990	0	131,010
令和会 (R3.10.13解散)	2名	480,000	280,000	0	200,000
創風会 (R3.11.1結成)	6名	600,000	581,926	0	18,074

※収支内容や領収書、その他、政務活動費にかかる詳細説明については、「彦根市議会ホームページ」でご覧いただけます。

議員表彰

全国市議会議長会会長から、2名の議員が表彰を受けられました。



谷口典隆議員
議長4年表彰

辻真理子議員
15年表彰

併せて、谷口典隆議員は全国市議会議長会都市問題に関する特別委員会副委員長感謝状を受けられました。

彦根市議会

議会 広聴

の日

『議会広聴の日』は、普段市民の皆さまが考えている市政へのご意見について、市議会議員と気軽にお話しただける「意見交換の場」です。

出張!彦根ゆかたまつり会場で開催

日時：令和4年8月6日(土)、7日(日)
17:00 ~ 20:00

場所：彦根ゆかたまつり会場
(夢京橋キャスルロード)

その他：当日、随時受付させていただきますので、お気軽にお越しください。

開催日時	担当議員
8月6日(土) 17時~20時	辻 真理子・野村 博雄 谷口 典隆・黒澤 茂樹
8月7日(日) 17時~20時	中川 睦子・森田 充 矢吹 安子・谷口 典隆 黒澤 茂樹

編集後記

6月定例会において、17の議案を審議しました。

個人質問については19名の議員が登場し、議員と行政側による活発な議論が行われました。詳細は、市議会のホームページから是非ご覧ください。

彦根市スポーツ・文化交流センターが7月に完成し、12月から市民の皆さまに利用いただけます。彦根市議会としても、市民の皆さまに便利で有効に利用いただけるよう、行政側にしっかりと提案をしていきたいと思います。

今後とも、市民の皆さまの声を聞き市政に反映させるために、議員一人ひとりがますます研鑽に努め、議員力の向上を図ってまいります。

広報委員会



次の定例会は **9月**です

本会議・委員会の日程(予定)

月日	内容	時刻
9月 5日(月)	開 会	9:00
9月12日(月)	代表質問 個人質問	9:00
9月13日(火)		
9月14日(水)		
9月15日(木)		
9月20日(火)	予算常任委員会	9:30
9月21日(水)	企画総務消防常任委員会	9:30
9月22日(木)	福祉病院教育常任委員会	9:30
9月26日(月)	市民産業建設常任委員会	9:30
9月28日(水)	本 会 議	9:00
10月 5日(水)	決算特別委員会	9:30
10月 6日(木)		
10月 7日(金)		
10月13日(木)	閉 会	9:00